

むしばをみんなでやっつける

四街道市立四和小学校三年 平山 柚花

いま、わたしは、むしばが一つもない。

なぜなら、まいにち、はみがきを三回やっ

ているからむしばがわたしのはによつてこな

いのだろうと思う。まずは朝ごはん、その次

にきゆう食、そして夕ごはんを食べてねるま

えにみがかく。すこしまえにはいしやさんにい

つてむしばがないかみてもらったら、「すご

くきれいだけど、はみがきは、ちゃんとやっ

てね。」と、言われた。もつとはぶらしでみが

くことを、がんばろうと思った。ふだんは、

フロスをつかってから、はぶらしをやっつい

る。気をつけなかったのは、ていきけんしん

のとき、「すこしはぐきが、けずれてます

ね。」と言われ、それから強くみがくことを

やめてやさしく、みがいている。わたしは、

「はみがきが本当に、大切なんだな。」と感

じ

た。また、これからはもっとはを大切に

して

とてもうれしい。いつものものようににはみがきを
していたら、「きつと、はも、わたしたちと
いっしよに、生きているんだな。」と、ふと思
った。実は、はにも命がある。よく考えてみ
たら、はもきれいにしないときたなくなる。
わたしたちといっしよだ。でも、きれいにす
ると、いつまでもかがやける。あたり前のよ
うにごはんをたべているけどおいしく食べら
れるのは、元気なはがあるからたべられてい
るんだなと、思った。もしも、はが元気じゃ
なかつたら、ごはんもたべられないし、なん
かモヤモヤするな。わたしたちは、はにかん
しやをしなければならぬ。子供のはは、か
ならずぬける。ぬけて時間がたったら大人の
はが出てくる。「はも、わたしたちと同じで
子どもと大人がいる。」と気付いた。
わたしは、今でもむしばをやつつきたいと
思っている。みんなもむしばゼロを目ざして、
はぶらしをしっかきしよう。むしばをみんな
でやつつけて、むしばゼロ。